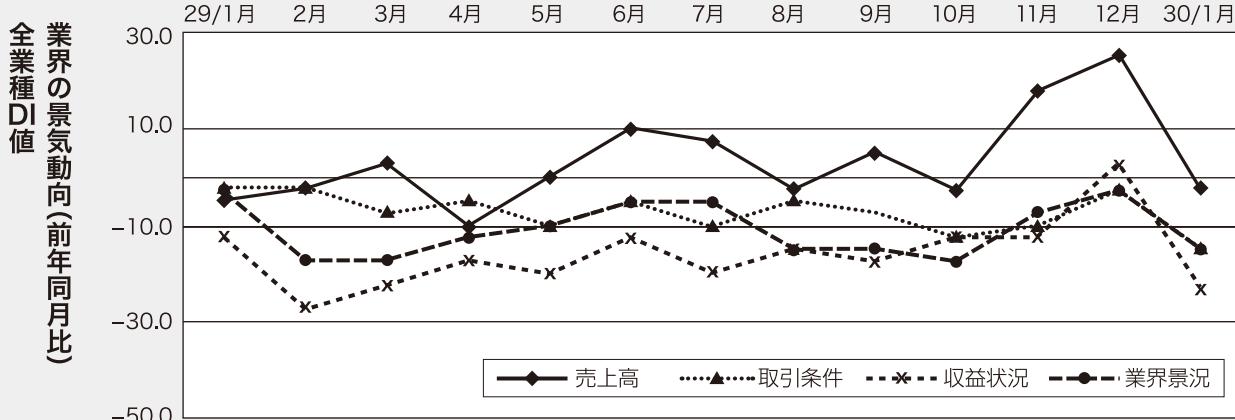


業界の今!

情報連絡員報告より
1月の業界の動き

◆ 平成30年1月度 情報連絡員報告 ◆



	29/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/1月	増減
売上高	-5.0	-2.5	2.5	-10.0	0.0	10.0	7.5	-2.5	5.0	-2.5	17.5	25.0	-2.5	-27.5
取引条件	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	-10.0	-5.0	-10.0	-5.0	-7.5	-12.5	-10.0	-2.5	-15.0	-12.5
収益状況	-12.5	-27.5	-22.5	-17.5	-20.0	-12.5	-20.0	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	2.5	-22.5	-25.0
業界景況	-2.5	-17.5	-17.5	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-15.0	-15.0	-17.5	-7.5	-2.5	-15.0	-12.5

概要

平成30年1月の前年同月比DI値は前月に比べ、「売上高」は27.5ポイント、「取引条件」は12.5ポイント、「収益状況」は25.0ポイント、「業界景況」は12.5ポイント悪化し、11月・12月と製造業を中心に好調が続いているが、1月は全項目とも悪化に転じた。

製造業では12月に引き続き受注が好調な業種もあるが、原材料価格の上昇や燃料価格の値上げで収益は減少した。

非製造業では年末商戦の反動から1月は売り上げが厳しい声もあり、また寒波の影響で集客にも影響が出ている。原油価格の上昇に伴う燃料価格の上昇は各業界に影響が出ており、中小企業の先行きは依然として注視していく必要がある。

燃料費が値上がりしており、経費増により収益を圧迫している。(トラック)

集計上の分類業種		具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	豆腐	ガソリン、灯油が高値のためその分収益は減少した。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	年明け後も寒い日が続き、冬用食品を中心昨年と同程度の出荷量である。材料となる段ボールシートの値上げは浸透した。次は段ボール製品の値上げをお客様にお願いし、徐々に値上げが決定している状況である。
	鉄鋼・金属	鍍金	生産量は、12月と同様に好調さは堅持されている。当組合で昨年より始めた景況に関するアンケート調査によると、前年1月から6月までの結果と比較して、14%増の傾向にある。売上比率でみると、自動車関連と産業機械関連は4~5%の減少、電気半導体関連と建築関連は、2~3%の増加となっている。また、その他も4%増加しており、全体的に好調といえる。
非製造業	小売業	石油	1月度の燃料油販売数量は、前年対比5%前後の減販であった。燃料価格の値上の影響と寒波により、ガソリン販売数量が8%前後減販の状況であった。灯油については、寒さの影響により前年比をかなり増販できた状況であった。原油価格の上昇による販売価格の値上げについては、価格競争の影響により値上げが改善されない状況の為、収益面においては、厳しい状況であった。今後寒さは続くため、灯油販売及び冬商品の販売強化を図っていきたい。
	建設業	建設業	受注額は、前年同月比では、やや増加しているものの、通年ベースで比較すると、7%程落ち込んでいる。この理由として、本年度は、前倒し発注の目標値が示されなかつたため、発注が下期にずれ込んでるためと思われる。国の補正予算の枠組が決まったようなので、当県への配分が多くなされることを期待している。
	運送業	トラック	燃料費が値上がりしてきており、経費増により収益を圧迫してきている。